

東京福井県人会規約抜萃

第5条 本会はその目的を達するため下記の事業を行なう。

- 1. 懇親会その他の集会の開催
2. 会員及び家族の結婚の紹介
3. 会員名簿及び機関紙の発行
4. 郷土訪問、観光の斡旋
5. その他必要と認められる事項



東京福井県人会

発行責任者 理事長 鎌倉 安一
東京都千代田区平河町2-6-3
(都道府県会館別館8階)
福井県事務所内
電話直通 03(264)0454番
振替口座 東京8-180487番
印刷 河和田屋印刷(株)

～発刊を祝って～

東京と福井の架け橋として

福井県知事 中川 平太夫



東京・福井の輪



東京福井県人会の発展に向けて

会長 松平 永芳

若い方々のご発議により、「東京福井県人会報」が創刊されたことは東京福井県人会の第一層の団結、発展の為に、洵に結構なことであります。

現在、私は立場上、毎日のように週・月・季刊の各社関係の社報、連族会報、郷友会報等々、目を通す機会が数多くありますが、御座成りて前々からの情勢で出していると思われ、一方、内容が豊富で、有益な編集者の方針や努力が溢々と汲み取れるもの等、様々であります。

このたび東京福井県人会報が刊行されたことは、会員皆様の親睦と本会の御発展はもとより、郷土福井との結びつきも一段と深められると存じ、心よりお喜び申し上げます。

は誠に心強く存じております。どうか、県人会の皆様には会員相互の連帯、親睦を更に強められますとともに、今後一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東京福井県人会報の発刊に当たり、一言お祝いのことを申し上げます。

開通のため小松・南越前・大坂間のルートに早期公表を強く求めているほか、県民あがりの強力な建設促進運動を展開しております。

東京福井県人会が、創立八十八周年の「米寿の祝」を迎えられ、ここに機関紙が発刊されましたことは、誠に意義深く心からお祝い申し上げます。

このたび県人会報が発刊されることになり誠にめでたうございます。

私自身も今日迄、様々の機関誌の編集発刊にたずさわってきましたが、これ等本務外の奉仕的仕事が如何に苦勞の多いものであるかと言ふことは、よくよく認識し、批判するが協力はしないと言ふ類の人が如何に多いこと屢々でありました。

このたび発刊された私たちの会報が、竜頭蛇尾に終ることのないよう、内容において、紙数において徐々に向きになって来たと言われ、一肌脱いでも援助しなければと思わせる様なものに今後共同一層して頂きたいと思ふます。

お祝いを祈る
このたび県人会報が発刊されることになり誠にめでたうございます。

お祝とお祝い
お祝とお祝い
お祝とお祝い

お祝いの詞
福井市長 大武 幸夫
このたび東京福井県人会報が刊行されたことは、会員皆様の親睦と本会の御発展はもとより、郷土福井との結びつきも一段と深められると存じ、心よりお喜び申し上げます。

お祝とお祝い
お祝とお祝い
お祝とお祝い

お祝とお祝い
お祝とお祝い
お祝とお祝い

お祝とお祝い
お祝とお祝い
お祝とお祝い

祝 発 刊

参議院議員 山内一郎
〒100 東京都千代田区永田町二二二-一
参議院 会館七〇一-一 号室
電話(〇三)五〇八一八七〇一

参議院議員 熊谷太三郎
〒100 東京都千代田区永田町二二二-一
参議院 会館四二四号室
電話(〇三)五〇八一八四二四

衆議院議員 平泉渉
〒100 東京都千代田区永田町二二二-一
衆議院第一議員会館三〇九号室
電話(〇三)五〇八一七三〇九

衆議院議員 福田一
〒100 東京都千代田区永田町二二二-一
衆議院第一議員会館五二九号室
電話(〇三)五〇八一七二五九

衆議院議員 辻一彦
〒100 東京都千代田区永田町二二二-一
衆議院第一議員会館六四〇号室
電話(〇三)五〇八一七一五〇

衆議院議員 牧野隆守
〒100 東京都千代田区永田町二二二-一
衆議院第一議員会館四〇九号室
電話(〇三)五〇八一七九〇一

会報の発刊を祝す

福井県東京事務所長 蓮川 貢 (福井市)

このたび、東京福井県人会報が、東京福井県人会報の発刊を祝す。...

発刊の辞



理事長 鎌倉 安一 (和泉村)

この度、望望の東京福井県人会報が関係者各位のご協力により創刊の運びとなりました。...

私の福井県

副理事長 近藤 勝 (勝山市)

親愛なる県人会の皆さん、遠く故郷を離れて夫々志を果された方、また大いなる未来に希望と夢を託して日夜健闘して居られる方に深い敬意を捧げるものであります。...

福井県東京事務所人事

- 所長 蓮川 貢
次長(振興) 山崎 一彦
次長(振興) 高佐 和弘
総務課長 大倉 武則
振興課長 中島 正昭
主査 藤本 孝夫
主査 佐野 法夫
主事(県人会担当) 荻野 真治

発刊に想う

副理事長 佐々木 功 (大野市)

福井県のことをよく知らなくとも、福井県内といえども、知る人が多くいることであろう。...

力量感のある『ふるさとの本』

福井新聞編集委員 和田 稔 (福井市)

ふるさとの本は今、勢いづいて、福井市内の書店にもあふれ、ホテルなどでも『郷土出版コーナー』が定位置を占めている。...

創刊を祝す

副理事長 朝岡 勇 (福井市)

福井県人会結成以来八十八年、明治、大正、昭和と交通の不便であった時代といわれており、分衆の為になるエキスであり、活力となるものと信じております。...

最近の貿易摩擦、円高等に依り会員の皆様にも、その関係される各界において、格別のご苦心を要する時期ではないかと察せられます。...

郷土を愛し、郷土を共にする方々によって、表面はおだやかながら、内に秘めた情熱によって、支えられて来たものと思っております。...

きなかつた『小浜町誌』が、小浜市郷土研究会の手で実現したことで、死蔵の資料がよみがえらせられたところに、並々ならぬ執念が感じられるのだ。...

前田建設工業株式会社
代表取締役会長 前田 又兵衛
代表取締役社長 前田 顯治
〒102 東京都千代田区富士見2-10-26
電話 03(265)5551

株式会社 熊谷組
取締役社長 熊谷 太一郎
〒162 東京都新宿区津久戸町17-1
電話 03(260)2111

飛鳥建設株式会社
代表取締役会長 飛鳥 齊
〒102 東京都千代田区三番町2
電話 03(263)3151

昭和61年春季総会開催 結成88年を飾る盛大な祝典



東京福井県人会春季総会は、六月二十一日午後零時半からスエヒロ築地店で盛大に開かれ、約五百人の会員が出席しました。

この間、人また同じからずとあって、世代交替も世の習いに従って動いているようである

「鯖江会から」

戦後幾許もなく鯖江町借陰尊堂高等小学校の新設支援のため組織された借陰会の七周年に際して、これを母体として発生した鯖江会も既に三十年を経過した。

在である。あの日野川も浅水川も決して水を絶やすことはない。

御礼



常任理事中村秀子さん(写真)は、現在日本料理店、みくに(市ヶ谷ジャブビル地下)の経営者。

東京敦賀人会

昭和四十六年に結成、本年は十六回目の総会を盛大に行い、会員は八百名、会長は西野嘉一郎氏(芝浦製作所相談役)で、

東京勝山会近況

不肖私が名門勝山会の会長の要職を委ねられていますが、当勝山会も発足して、かれこれ五十年にもなります。

武生郷友会

武生郷友会の春季大会は東京虎ノ門の葵城会が開かれた。六十人の会員が出席、初めに臨時審判部会長として活躍している本泉出身、天谷直弘氏が「世界の中の日本」の題で講演された。

雲城会

嶺南地域の出身者でつくっている雲城会(丸井大陸会長)の春季総会はこのほど、東京港区の南青山会館で開かれた。

東京大野会

古くは、大野藩主土井公時代から、大野以外に、大野屋を閉かせてより、江戸の当時より、業運営に主導的な役割を担う役員メンバーの半数が女性で、女性参画のウエイトの高いこと

大野出身者が、東京で大野会を開いていたと考えられる。現在の東京大野会と、その前身母体は、大野山と、その郡部出身者が中心を占めているが、

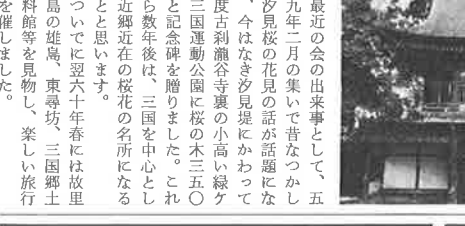
佐々木事務所所長付となつて(電話は〇三五一九一〇二七)一番FAXは〇三五一〇八一〇(一七)。

三国会と花

みなと町三国会の集りで昭和二十六年に五六人で発足し三十五年になりました。当時の一人の中に現代詩の登壇で、詩の世界で芥川賞と言われる日賞の sponsor 平澤貞二郎氏(勝



最近の会の出来事として、五十九年二月の集いで昔つかしい汐見の花見の話が話題になり、今はなき汐見堤にかわって今度古刹瀧谷寺裏の小高い緑ヶ丘三国会運動公園に桜の木三五〇本と記念碑を贈りました。これから数年後は、三国会を中心とした近郷近在の桜花の名所になることと思います。



宝鏡建物株式会社 東京三味株式会社 (株)日高カントリー倶楽部 代表取締役 高橋修



わがふるさと南条町

山根 重次(南条町)

ふるさと、こんなロマンチックなところはない。わがふるさは、福井県南条郡南条町である。北陸線の北陸トンネルを出て...

花も実もある長寿社会を

大和田 潔(敦賀市)

二十年近くも前になるが、北欧の国デンマークに行ったときのこと、夏だったから艶やかなミニワンピースを着た若い女性...

県人会の思い出

岩佐昇一(福井市)

私が県人会に入会しましたのは昭和二十六年頃でした。当時東京駅前丸ビル商業ビルで当会が開かれました。会長は、松平さんでした。その後、酒井さん、長井さん、高田さん、青山さん、木内さん、石田さんなど...

損益分岐の人間学

西野 嘉一郎(敦賀市)

私は今年の八月満八十二歳を迎えた。健康であることが人生最大の宝であると思う。八月のお盆に叔父の年忌を兼ねて妻(八十歳)とともに郷里敦賀へ帰った。たまたま大阪教育大学の集団帰省の方が気比神社宮の参拝しているのに合流し、祭司の祝詞をいただいた。その時昔の色々なことが走馬灯のようにうかんできた。敦賀商業を卒業したのは大正十二年、それから故郷を離れて六十余年になるが、それでも故郷というものは実によいもので久しぶりで松原公園から立石碑の近くまでドライブして幼いときの思い出に浸った。

私と福井

久保 文苗

私は坂井郡春江町に本籍があり、その地に家屋敷と若干の農地も持っているのだから、福井県人であることに間違いない。だから東京福井県人会にも会員として名を連ねさせていたに違いない。しかし実際に福井県に居住したのは僅かに二年足らずですが、時節柄若者をもっと集めて若返り法を...の声が時々出ますが難しい問題です。青年部に大いに活動していただかなければなりません。婦人部も曾ってある部長さんが就任された時はお盛んでした。やはり頭分盛衰があるようです。時々故郷の人々と逢って色々な話をすることは何事にも代え難い一つです。昔からみらいと交通の便が良くなりつつと近くなった感じがします。また歴史知事さん初め皆さんの努力で大変立派になりました。役員の方は大変だと精神で会発展のために尽くしているのです。今では故郷は、近くにあるように思われる。福井県の人々に、更に発展する事を折って止まら

私の見た県人会の集り

山下茂(和泉村)

県人会々々の皆さんいつもお元気の様子がお喜びたいと思います。年一回の福井県人会で皆さんとお会い出来るのが年と共に大変懐しく思います。私と東京大変に在任中は大変お世話になりました。今年もご一緒させていただきます。現在私は名古屋に勤め、昨年から名古屋の福井県人会総会に出席して大変驚いておりました。五十名足らずですが、総会には出席者が二百名近くで、その半数近い方が二十歳前後の若い方が多いのに驚きました。これは

私の健康法

小林 忠雄(大野市)

私は本年九十五歳の馬齢を加えましたが、外見は鏡面にして読み足も夫で新聞にどの悪いところなく血圧は130-70でなお数種の仕事に従事し働いております。これは長きは七十二年短は五十一年自分の選んだ健康法を続けており目下百四十歳の長寿を目標に精進しております。富貴も人の望むところですが健康で長寿を得たことは人生唯一最大の幸福であります。然しこれを達成することは容易ではありません。これがためには不眠の健康法を続け身体の外野並びに内臓諸器官の愛護と鍛錬に努め食生活に留意し血液をアルカリ性に保つこと、また栄養をとり腹八分に動脈快便して精神の平静に勤む等の修養に心を掛けるなど、忍耐と努力が肝要であります。具原益軒の養生訓に治療の術を頼まず病氣からかぬよう慎めと諭しておりますが、これこそ健康維持の鉄則であります。人間の身体は爪、皮膚、筋肉、骨まで内臓諸器官等すべて細胞であり、その数は数兆兆といわれております。しかも複雑なる組織をもつて靈敏なる働きをなして常に新陳代謝(更新)を繰り返して身体を保っております。健康であることは細胞が新陳代謝しておることであり、人の身体は病氣に対し自然に治癒する能力があります。これがために健康法により新陳代謝を充分に行われ、一方自然治癒が行われ病氣にかかればききません。うにしなければなりません。

ガンダーラ

天谷直弘(福井市)

夏休みに中国新疆省のカシュガルからパミール高原を縦断し、カラコルチ山脈を横断して、パキスタンのガンダーラに至る旅行をしました。この間千三百キロ、ジープで走りましたが、一寸した冒険旅行でした。以下にガンダーラの印象を詠んだ拙な歌を記します。山の容草木の色もなほどか大和に似たるガンダーラかな。通けくも来る旅かなわれは今西方浄土草深みたり。来迎の諸仏の姿消え失せて西方ここにインドとギリシャ相



わがふるさと福井県

だが、われわれ自身もすっかりしなればいけないと思う。みんな若さと健康を保って行くことが大切。活力がなくなると、人は本当に

昭和三十四、五年頃は各地の老若男女三百名前後も集まられて盛大でした。現在も二〇〇名前後の方が集まられ楽しく盛

岩佐昇一(福井市) 県人会幹部から寄付金を募る事になりましたが、細川さんの百万円と小沢さんが五十万円出されただけであとは続いていきません。

岩佐昇一(福井市) 県人会幹部から寄付金を募る事になりましたが、細川さんの百万円と小沢さんが五十万円出されただけであとは続いていきません。

岩佐昇一(福井市) 県人会幹部から寄付金を募る事になりましたが、細川さんの百万円と小沢さんが五十万円出されただけであとは続いていきません。

岩佐昇一(福井市) 県人会幹部から寄付金を募る事になりましたが、細川さんの百万円と小沢さんが五十万円出されただけであとは続いていきません。

岩佐医院長 台東区議会議員 医学博士 岩佐昇一 〒110 東京都台東区東上野1-8-10 電話 03(831)1833

株式会社芝浦製作所 相談役 西野嘉一郎 〒146 東京都大田区鶴の木2-23-7 電話 03(758)3318

東京靖江会会長 華栄養専門学校長 医学博士 軽部彌生一 〒110 東京都台東区根岸1-1-12 電話 03(874)7261

「狂乱のアステカ」

FIFAワールドカップ'86

メキシコ大会



荒川 詔 夫 (福井市)

衝撃的と言え、これ程の衝撃はない。自分の目、耳を疑うほどの光景が競技場全体を覆っている。マリアッチは耳を突き裂き、観衆の陽気な叫びは、波き寄せる如く響き、その場は絶え間ない歓喜の世界に没頭している。これが試合開始二時間位前から延々と終了まで続く。マラドーナを中心とするアルゼンチンの試合は、さすがにスピードで、変幻自在のボールテクニック、鋭いドリブル、超人的シュートを次々と生み出す奇跡的な。優勝決定の瞬間、場内は最高潮に達し、クス玉から銀の紙吹雪が舞う中、抱きつく選手達や大会関係者の興奮が、競技場を埋め尽くしていた。FIFAカップを手にしたマラドーナが、肩車の場内一周ウイーン



山之内 三紀子 (福井市)

近年若い女性や主婦の社会進出は著しいものがある。しかし、これは喜ばしい一面、親子のコミュニケーション不足から、子供の不良化を生じさせている。子供が社会人になるまでには母親の愛情を必要とする。教育のコミュニケーションが不可欠である。勿論、父親との対話も必要である。家庭での対話、小生の妻は、家庭にいても子供の面倒を何かにつけ独立を促進して行く方向で面倒を良く見ている。家庭の掃除、洗濯、炊事等こまめに感心

活躍するわれ

目がさめる。と、白々とした空と境をなくした。狂風がぼんやり見える。長い間、木の椅子にもたれて寝ていた。通り掃きしようとする両親に対して、行きたくないとい頑張り。そんな私が喜んで福井に行きようになったのは何時だったか。福井の歴史は、夜な日づけなく空を見上げた時、漆黒の

わが妻に思う

寺 沢 和 濃 (大野市)

ヒロードの上に砂金を手で散らせたような星の帯が見えた。生れて初めて見る天の川であった。美しかった。周囲を見れば、東京では見られない自然があつた。七瀬川のせせらぎ、螢の乱舞……。その自然が今、破壊されようとしている。私は市民とともに、この地の自然を守り抜きたいと思つている。

私の仕事

藤 木 隆 宣 (福井市)

私は現在、仏教情報センターの世話人兼事務局長を務めています。仏教情報センターといふのは、その名の通り、仏教に関するあらゆる情報を公正に提供し、若手の有志僧侶によって運営されている団体です。今や「テクノロジー」から心の時代へと社会の要請が高まる中で、私の仕事は広い範囲に亘っており、中でも昭和五十八年の六月に開始いたしました「仏教テレフォン相談」(〇三一一一七四七〇)は、予想を上回る反響を呼び、仏事相談、人生相談など、現在までに約三万件にのぼる相談を受けています。それは、仏教本来の慈悲と智慧の精神が、現代ほど切実に求められている時代ではないかと物語っています。私も今後、さらに活動を展開し、「カスミ研究部会」「ホスピタル研究部会」を設立させ、具体的に社会に貢献する実践運動を進めてまいります。また、首

県人会を想う

沢 崎 芳 親 (南条町)

東京近郊に住む県人の集いがあがる。今福井県の人口が八〇余万だが、この都府に一体どの位の福井県人が住んでいるだろうか。恐らく一〇〇万人以上は多いのではないだろうか。そしてすべてが県人というわけにはいかない。県人会といふのが大規模の組織でとても煩わしく思ふ人も少なくないが、同じ県人会を納めて出席している以上前記二つの会と同じく全く遠慮することもないし、むしろ一面織りもなかつた同志で同席した隣人と談笑し合うことは同県人としての郷土意識が親密感を呼び世代的隔りがあつても全く遠慮を感じさせない郷土愛にみちみちふるささの会である。ふと自分なりにこんなことを考えるこ

「韓国訪問記」

簡 井 英 子 (勝山市)

今年、夏の主人の友人夫妻と韓国陶磁の団体旅行に参加しました。旅とは申せませんが、韓国には大きな古墳があったり、島の真ん中に、いわくありげな石塔がそびえたり、新羅時代、そのままでの外観を保った家が建っている、今も古都の面影がた

私のふるさと考

小 林 武 夫 (永平寺町)

私にとってふるさととは何んだらうか。特に今まで考えたこともない。しかし片時も心の想いの中からは消え去ることがなかつたことは確かである。ふるさと福井のこと、新聞、テレビ等の伝媒体で掲載、報道されて目や耳を傾注することもある。ふるさととは、ふるさと福井である。ふるさとをどう思うかと聞かれれば好き嫌いで答えるものではない。ふるさと福井、どちらかと言わず取りわけて好きでもないし、答えるだらうか。気候、風土、風俗、歴史等から陰湿とも感じられるあの暗さが耐えられない。生れて高校卒業時までの十八年間生れ育つたのだらうか。福井県が心身とも奥底まで骨髄の占むばかりのうちに染みついてしまった。橋、雲と蜘蛛、鼠と蝸の区別が今だに意識して発音しなければ識別できさうという程、福井弁がこびりついていない。お上が便宜上、いや歴史の経緯もあるのだらうが繰り引された福井県の行政区域の中に生れ育つただけで福井県人の集いと云って大勢が群れ集うのも奇異に

<p>クラウンエース株式会社 朝岡香辛料株式会社 代表取締役社長 朝 岡 勇 〒174 東京都板橋区志村3-20-12 電話 03(969)2066</p>	<p>佐々木内外国特許商標事務所 弁 理 士 佐 々 木 功 〒154 東京都世田谷区下馬1-1-2 電話 03(421)1222</p>	<p>小松川工業株式会社 代表取締役 近 藤 勝 〒105 東京都港区浜松町1-22-1 電話 03(432)4325(代)</p>
--	---	--

青年部たより

東京地区に在住する福井県出身の若い人が、気軽に参加できる県人会に脱皮することを目的とした青年部が、昭和五十七年結成。五十八年春期の総会を正式に発足した。明治三十二年に県人会が発足以来、青年部が設けられたのは初めて。

大徹後援会のこと

中森 七郎(和泉村)

大徹が入籍して、この秋場所(秋場所の成績は八勝七敗)で十八場所が過ぎました。場所ごとの星取りでファンをヤキモキさせているが、三年間も幕内を維持したことは立派なことです。昭和四十六年名古屋場所入門の新星は、みゆり、琴風、小沼、琴若、奇須、琴千歳、大徹の六人が幕内に昇進しました。

こんにちには!!

土田 ユミです



楽屋うらばなし

林家 鉄平(福井市)

都内の寄席は現在、上野の鈴本演芸場、新宿の末広亭、浅草の演芸場、池袋演芸場の四カ所です。普通、寄席においでになるお客さんは「寄席に来た時から

に終らず、出版記念会、福井の政治家を育てる会、福井の発展の為に開発を考える会等々独自の企画が考えられている。更に今後各会員は福井県人会広報の発行と共に、福井に住する現役の各界々との親睦と交流を行い、東京と福井の大きなパイプ役となつてゆくことはまちがいないだろう。

伊藤あきひろ君を はげませう

全盲の歌手としていま話題の伊藤あきひろ君は(キングレコード歌手、勝山出身)県人会にも出演、私達にもなじみの人武蔵野音大ではトランペットを専攻し、昭和五十八年一月、五木ひろし「細雪」コンテストで特別賞を受賞、昭和六十一年に世界的なトランペッターニッポンとデュエット公演、満席の京都会館で割ればかなりの歌声に沸いた。今回東京福井県人会、東京勝山会後援会、伊藤あきひろ、ふれあいコンサートが東京で開かれることになりました。ぜひ会員の皆さんにご支援をお願いします。

酒考錯誤 その1

筒井 忠信(大野市)

恋をして一度も酒を飲まなかった人がいるだろうか、酔った気持ち、胸の気分、酒はその伴いであろう。幼い子がミルクで育つよう、恋を育んでゆく。恋人とそとと交わすグラスの音ときらめき、それは朝陽に輝く露よりも美しく、きらめき、露よりもロマンチックな酒はい。私が新宿で「飲み屋」をやっている。目にしたのは醜態メチャクチャ悪態ばかり。その六例をご紹介します。

著者ひとこと

黒川 康正(福井市)

私は現在、中央区日本橋で弁護士、公認会計士、通訳として黒川康正国際法律会計事務所を経営している。昭和二十五年福井市に生まれ、昭和四十五年に大学入学のため上京するまで、福井に私の全生活が送られた。福井こそ、まさに私の故郷である。

吉田 弘保(福井市)

昭和二十七年、大学に入学するため、福井をたった一年、今年で早や三十四年が過ぎました。京で生活の方が大変がなくなりました。最近、不動産に関する相談の多くが、税金問題であることに痛感したからです。とにかく、地価の安定こそが望ましく、という思いで、寄稿をしてみました。

ブック紹介

近くで最も遠い国、韓国。そして今や日本を追い越す勢い。韓国を訪ねて驚いたことは、初老二人の女性の対話のアクセントが、全く福井弁(独特の尻上り)に良く似ていた。更に専門家の石屋さんに聞く、韓国の石と、東尋坊の石は同じであるという。日本と韓国の関係がもっと良くなり、正しい文化、経済等の交流ができることを期待したいものである。市販の書籍で韓国を紹介したものの一部を紹介したい。

林哲夫氏を送る会

林哲夫氏(敦賀市出身)

林哲夫氏は、勤務先を十月末退職、郷里に帰ることになった。同氏は会報、歌賀、の編集長として長年活躍、編集された会報は大変素晴らしい紙面で、このたび発行になった本会の会報の「ルーツ」となつたものである。林氏は、また青年部会員として毎回論議者として会員相互に親しまれてきた。このたび同氏の歌送会が、新宿キングダム(青年部会員筒井忠信氏経営)で開かれ、多数の会員が集まりました。長年の労に、会員有志から、花束がおくられ、鎌倉理事長、佐々木朝岡副理事長からも今後の活躍に、はなむけの言葉があった。同氏の今後の活躍を心から祈りたい。

Advertisement for three companies: 株式会社 つきち・田村 (長田村平治), スエヒロ食品株式会社 (代表取締役 石原雅晴), and 株式会社 みくに (代表取締役社長 中村秀子). Each includes address and phone number.



「越前大仏について」
勝山市長 池田 勤也

ふるさと情報

勝山市長 池田 勤也

勝山市長 池田 勤也

活動ある人材養成のために 県中小企業産業大学 開校なる

時代に対応できる能力、技術を備えた人材の養成を、総合的に研修機関として、本年六月、福井市下六条町の新学舎で開校しました。

中小企業を取りまく経営環境は厳しく、この時代を乗り切るためには、経営資源として、重要な人材の育成が急務であります。

しかし、本県のような中小企業、特に零細企業の方々にとりましては、時間的余裕、資金負担面等で、十分な対応ができないのが現状であります。

当大学は、経営者、管理監督の方々には、近代経営の理論、販売、財務などの幅広い管理手法と、戦略的な考え、手法を修得していただくと共に、技術面では、先端技術を中心とした研修を力を入れています。

津村節子著「炎の舞い」の小説にも登場する水野氏(六五)は、宮崎村熊谷に住む、私財を投じ、水野古陶磁館を設立して、四十年來の越前焼の研究の成果が認められ、山本有三記念賞、郷土文化賞受賞にひきつづき、このたび小山富士夫賞を受けた。越前焼は、平安時代末期に、宮崎村、織田町に始まり、その分布は、丹後半島から北海道の函館までの日本海全線にわたっている。中世最大の産業がわが福井県に存在したことは驚く他ない。水野氏は、昔の穴窯を復元し鎌倉時代と同じ方法で、米春焼き物を作る予定。

「織田信長サミット」
開催

織田信長に関係のある全国の十一市町村は、十月十七、十八日の両日群馬県甘楽町で「織田信長サミット」を開催した。織田信長との関係を生かして、歴史と文化を土台とした街づくりを進めようとするもので、今回は三回目。

福井県からは織田町長、助役が出席した。この他市町村として余良限天理市、同枚井市等の各首長が参加した。
(十月九日付日経)

「情報をください」 福井県人会に望む

情報化時代といわれる中で、今 地方では「情報の発信基地化」が強く求められている。価値のある情報の提供が、モノの移出と同様な価値を持つというわけだ。

だが、その視点から福井県をみると、調査がきざされて、ある程度の情報は、全国最下位の位置にいる。モノづくりに全国都府県の流れをとり、また情報化時代にも取り残されようとしているのが、皆さんの古里、福井の現状だ。

ねいっているわけではない。世界の情報発信基地といわれる東京、首都圏とのアクセス確立に北陸新幹線の早期着工、福井空港の基盤整備と人材の育成、移住の

どに努めている。しかし、いずれの事業も五年、十年の準備期間を必要とする。

その間、「つなぎ」というわけではないが、東京在住の県人にお願ひしたいのが、古里への情報のリード、バックということだ。

首都圏には約二十万人の県人が住んでいる。その何百何千分の一の人々が、古里振興の情報提供願えば、新幹線が走り、大型ジェット機が飛び、さらに多くの情報が流入するのではと考える。

その情報を地元で加工し、再発信するようなシステムが確立されれば、県人の古里は緑豊く、人情厚い楽園として、県人を受け入れられるのではなかろうか。

福井新聞社
政経部長 宮本浩次

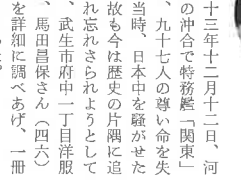
東京印象記

米沢 桂 子 (福井市)

東京は、中学校の修学旅行で訪れた以後、行ったことはありませんでした。この夏、運よく会社の研修で、約一週間滞在しました。ほとんど初めてと同じく、大変とほど、不安ではありませんが、この「研修」には有意義で、全国から集まった人々と充分交流ができたという。宿舎では、宮崎県の人と同じ部屋になり、楽しく仕事のことや趣味のことなど語りあうこともできました。週末も久しぶり高校生と同級生とも会ったり、楽しく過ごせ、今ではとても良い経験ができたと言っています。

東京の印象を一言で語るとはなかなか難しいのですが、率直に感じましたことは、東京は「知識や情報を貪欲に吸収するためには、最も適した所であ

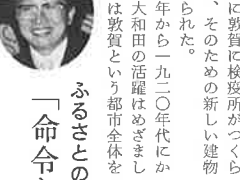
ふるさとの建物 (1)



この建物は一九一六年につくられて、設計者はわからないが、バランスのいい見事な洋館。大和田庄七は、朝鮮半島の輸入を計画し、一九一五年に二五六頭を初輸入した。このためにこの年に敦賀に検疫所がつくられ翌年、そのための新しい建物がつくられた。

この年から一九二〇年代にかけての大和田の活躍はめざましい。彼は敦賀という都市全体を

「命令しあらざるも」



著者 馬田 昌保

休日には部屋に閉じこもり、執筆作業に専念し、徹夜同然の日も何度かあったという。調査のため、ミレ島近郊のマジョ島にも足をのびし取材している。

馬田さんは、今なぜ、これだけの執念を燃やしたのか。あとがきの中で「現場の海で救助に当たったという老婆たちは、六十一年も昔の出来事なのに涙さえ浮かべて話すのだ。その涙と生々しい語り口に、知らず知らずのうちにものり込み……夢中になった。ここに心をこめてこの拙文を捧げたい。特務艦「関東」の九十七名の殉職者とミレ島で散華した二十名の将兵と、そして取材後世界界された樋浦のおおあちの霊に……。」と。

岸まで泳ぎ着いた兵士の冷えた体を、河野村の女性が、自分の服を脱ぎ、兵士を抱き温めて温めたというヒューマニストリーも伝えられている。

品川書店発行、千三百円、馬田さんの連絡先は自宅(07781-2213334)

株式会社 日刊福井東京支社

〒104 東京都中央区銀座3-14-9 (第2厚生館別館)
電話 03 (543) 4 3 9 9(代)

福井放送株式会社

代表取締役社長 加藤 幸

〒910 福井県福井市順化1-3-11
電話 0776 (22) 3 3 1 3

株式会社 福井新聞社

本社 〒910 福井市春山1-1-14
電話 0776 (23) 5 1 1 1(代)

東京支社 〒104 東京都中央区銀座5-10-9 (戸塚ビル)
電話 03 (571) 2 9 1 8(代)

各会紹介(1)

東京・福井産業懇話会(福産会) 近況報告

福産会は、福井県商工業の振興・発展、開発と会員の親睦を目的として、福井県に本社を有する在京商工業者で組織されています。

本年度総会は、六月十三日、東京八重洲の観光ホテルで開催されました。

次いで、丸岡町の越前竹人形の里を訪問し、竹人形の製造工程を見学すると共に、種々の竹製品を、みせていただき、故郷の工芸のすばらしさを、再認識いたしました。

今年度の最初の事業として、研修会、懇親会が、八月十二日地元福井で開催されました。

福寿会のあゆみ

福寿会会長 森川 四三

老若男女を問わず、二、三ヵ月に一度の親睦会も田舎のいろりばとあいで、毎回わきあいあいで大変に楽しい一時を過ごせるのも郷土愛の結果ではないでしょうか。

東京地区各会一覧

同じ町や村に生まれ育った人も大変懐かしい。郷土の会の一覧を掲げた。(連絡先は主に、各会長の自宅を掲載させて頂いた)

- 福井県人会 会長 松平 永芳 事務局 03-264-0454
大野会 会長 高橋 修一 事務局 03-591-0271
勝山会 会長 近藤 勝 連絡先 03-729-5872
三国会 会長 伊藤 豊 事務局 03-481-2031
鯖江会 会長 軽部弥生一 連絡先 0422-53-7359
武生郷友会 会長 長田 長 連絡先 03-361-0105
南条郷友会 会長 山根 重次 連絡先 0471-67-2571
池田郷友会 会長 倉内 実 連絡先 03-996-2080
敦賀人会 会長 西野嘉一郎 事務局 03-503-7221
若狭雲城会 会長 丸井 大陸 連絡先 03-719-7527

福珠会近況

福珠会会長 近藤 勝

福珠会は東京県人会の唯一の野外運動の会です。運動場はゴルフ場です。会費は、運動場はゴルフ場に入らなければなりません。

事務局案内

郷土出身者の入会勧誘にご協力をお願い!!

首都圏に居住する福井県出身者は約十万人と推定されます。

この会は、親睦は元より、郷土の発展に寄与するものとす。この会の誇りとすることには、郷土の福祉事業しあわせ基金へ寄進を続けていることです。

東京明新会

東京明新会(福井市藤島高校旧福井中学出身者の会)の本年度総会は、渋谷区東郷記念館で開催された。

会員二〇〇人と今年三月、藤島高校を卒業した新入会員のうち二十四人が出席した。初めに鎌田英男会長(協和醸造工業相談役)があいさつ。このあと会務報告、新入会員が紹介され、渡辺一美さん(東京外語大学生)が挨拶の言葉を述べた。

井明新会副会長、足利正臣藤島高校長らが出席され、また柔野電士さん(日本電気宇宙開発事業部次長)の特別講演が行われた。

会報発行事業へのご協力をお願いします。ご協力を依頼とふれあいの広場、そして故郷と東京を結ぶ情報パイプとして、機関紙の役割と機能をより向上させ、故郷をいつくむ気持ちを持って大切に



歴史に画期的な一頁を刻むモノメント、機関紙の創刊号が待望久しく産声をあげました。時間や日常の交流不足の物理的な制約のなかで、未知との遭遇を体験する製作だけに、不安と戸惑いはあったものの、どうにか多数の皆様のご支援に励まされ、多年の夢を花開かせるに到り、感激深いものがあります。

春の定期例会の案内状や行事の開催通知、会報の郵送など事務局よりの連絡が今後とも増加することが予想されますので、経費、労力のムダをなくすために、住居変更のときは速やかにご通知下さい。

育てあげてゆきたいと希っておりますので皆様の故郷の風景、風味、風物を、是非ご紹介下さい。会員の皆様はじめ、県下の自治体一円に及ぶ広汎な規模でのご提供をお願い申し上げます。
二吉報歓迎、叙勲褒賞や権威ある団体よりの受賞
各界や所属団体の業績が認められ、叙勲褒賞の栄誉に輝かれた方々、各界はじめ、大手民間団体等より表彰に浴した場合は必ずご一報をお願いします。
福井県人としての名誉と地位を高めることで、県の栄誉発揚に貢献した足跡を広く皆様へもお知らせさせていただきます。
事務局よりのお知らせ
●会員名簿は、発行の都度、全会員に無償で配布し、これまで新しい名簿は二年度に発行の予定。最近名簿の、有償販売を募集している業者が有りますが一切関係がありません。
●この度当会の理事長、鎌倉安一氏が左記に転居されましたのでお知らせ申し上げます。
横浜市緑区市ヶ尾町五二一九電話〇四五-九七二-一三八四

方向を模索しながら歴史的な実験に挑戦したものの、県人会の歴史の重みと厳粛さに心身引締る想いを幾度か噛みしめ、冷汗をかきとせおして、た。ただ、歴史に耐えうるものを創るといふ悲壮な使命感で、自らを叱咤激励しながらゴールをめざしたひたむきな気迫をなつかしみたい。
創刊号を出発点に一層の質量に亘る充実への課題と展望が大きく広がらることを念願したいと思います。

なほ、発行計画の遂行に際して絶大なご芳情と原稿の提供を戴きました福井新聞東京支社社長の菊池智氏、県東京事務所の狩野真治氏はじめ、郵送業務にご尽力下さいました職員の方々、題字揮毫の會長松平永芳様に深甚なる謝意を表しあげます。
(編集スタッフ一同)

祝 発 刊

福井銀行東京支店
支店長 矢尾 益隆
東京都中央区京橋二丁目二二番一
電話 〇三(三七七)二一九一
福井銀行新宿支店
支店長 青山 宏
東京都新宿区西新宿二丁目六番一
電話 〇三(三四六)〇二九九

築地本願寺西多摩霊園
〒104 東京都中央区築地三丁目一五番一
電話 〇三(五四三)三五〇一
(霊園所在地)
〒197 東京都秋川市菅生七丁目一五
電話 〇三(二九三)九二三二

ビルヤング貸室業
山口産業株式会社
取締役社長 山口 信吾
(大阪町出身)
〒105 東京都港区新橋二丁目一番一
電話 〇三(五九九)七二二(大代表)

株式会社 テラキ
代表取締役 寺木 伝
東京都台東区浅草橋三丁目六番三号
電話 〇三八六(二五五二六代表)

メガネブティック 八重洲
宮川 亮一
東京都中央区八重洲1丁目6番16
電話 03-278-9366